

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾酒匂		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間が3部屋に分かれており、学習・公文・遊びの切り替えがしやすい構造となっています。構造化された環境は強みです。	支援前の打ち合わせは実施されており、役割分担の確認は行われています。また日々の記録は徹底され、必要な課題への対応も行われています。	保護者会は複数回開催され、家族支援への取り組みも一定程度行われています。
2	保護者満足度は高く、「安心して通えている」「楽しみにしている」「専門性がある」といった評価が多数あります。特に支援計画の説明や内容については高評価です。	買い物学習など、自己選択を取り入れる活動も実施されています。	職員間の共有不足(ヒヤリハット・改善提案・意見集約)が課題であり、組織的な業務改善体制の構築が必要です。
3	支援前の打ち合わせは実施されており、役割分担の確認は行われています。また日々の記録は徹底され、必要な課題への対応も行われています。	保護者会は複数回開催され、家族支援への取り組みも一定程度行われています。	地域交流や外部との関わりは少ないため、地域連携の強化余地があります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善におけるPDCAサイクルが機能しておらず、職員の意見が組織的に反映されにくい状況があります。	組織内での情報共有・意見集約の仕組みが整備されていないこと。	組織的な振り返り体制の確立（毎日の短時間共有・月次改善会議の設定）
2	支援終了後の振り返り共有がほぼ行われていないとの意見があり、チーム支援の質に影響する可能性があります。	人員配置の適切性にばらつきがあり、子どもの特性に合った配置ができない場合があること。	組織的な振り返り体制の確立（毎日の短時間共有・月次改善会議の設定）
3	保護者からは閉室対応や説明不足への強い不満があり、信頼低下につながる事象が発生しています。	休止・再開・閉室という不安定な運営状況が、保護者の信頼や満足度に影響を及ぼしています。	職員意見を吸い上げる仕組みの整備（定期アンケート・改善提案制度）。